

# 南高図書館だより

2025年5月号  
浦和南高校図書館

## 図書委員のおすすめ本



### 『夢をかなえるゾウ』

水野敬也／著 文響社

なんの変哲もないサラリーマンの主人公の前に突然現れた、ゾウの姿をしたインドの神様ガネーシャ。数々の偉人を育ててきたと豪語するガネーシャに、「今の情けない自分を変えたい」と思っていた主人公は教えを乞う事になるが、その内容とは……？

ユーモアも溢れ、読み終わるとすごい前向きになって、「今日から頑張ってみよう」そんな風に思わせてくれる一冊です。

※南高図書館では飛鳥新社版を所蔵しています。

### 『妹さえいればいい。』

平坂読／著 カントク／イラスト 小学館(ガガガ文庫)

とにかく究極の妹を追い求める小説家の主人公・羽島伊月については、彼の小説に出てくる妹キャラに対する愛情表現にも狂気が滲み、思わず笑ってしまいます。そんな彼の他にも、伊月への愛を行動原理にする後輩の可児那由多、伊月と同じ年の白川 京、イケメン作家の不破春斗、伊月の完璧な弟の羽島千尋などの様々な登場人物が繰り広げる、賑やかで面白いエピソードが満載です！「僕は友達が少ない」で知られる平坂読さんのこの小説をぜひ読んでみてください！



### 『夢十夜』

夏目漱石／著 しきみ／絵 立東舎

「百年、私の墓の傍に坐って待っていて下さい。きっと逢いに来ますから」第一夜から第十夜まで、計十遍の話からなるこの作品。前述の言葉は、そのうちの第一夜に登場する。主人公の眼の前で枕に横たわる女性の言葉である。自分の死を悟った彼女の最後の願いである。もしも自分の愛する人、友人、家族にそう願

われたら私は待てるだろうか？ その人のいない世界で百年も生きていけるだろうか？ そもそも、百年も生きられるだろうか？ 一夢の話の筈なのにここまで考えてしまう、魅せられてしまうそんな作品。夏目先生の夢旅行に是非、あなたも参加してみたいはかがでしょうか？

## 図書館からのお知らせ

◆南高図書館案内◆

### 学校生活に役立つ本、あります！

入試対策  
(小論文・面接)

職業から進路を  
考えたい！

大学(学部)案内  
勉強法、留学

小論文・面接  
コーナー

例  
『朝日キーワード』  
2023～2026まで所蔵

仕事の本(分類 366)

例  
『なるにはBOOKS  
●●になるには』シリーズ

進路コーナー

例  
『なるにはBOOKS  
大学学部調べ』シリーズ



南高図書館の「コ」にあるよ！





知識の本

自分にやさしくする生き方

伊藤絵美／著 筑摩書房(ちくまプリマー新書)

他人にはやさしくするのに、なぜ自分には厳しい人が多いのか。自分に厳しくすることでは幸せになれないのだから、自分にもやさしさを向けてみましょう。そのために必要なのは、他人にやさしくするように、傷ついた自分をケアするスキルを身に付けること。臨床心理士の著者が自ら実践中の「自分にやさしくする生き方」のスキルを紹介する本。実践ワークも付いています。

高校一冊目の参考書 行きたい大学に行くための勉強法がわかる 進路コーナー

船登惟希／著 usi／イラスト KADOKAWA

大学図鑑！ 2026 有名大学82校のすべてがわかる！

オバタカズキ／監 しりあがり寿／絵 和田ラヂヲ／絵 ダイヤモンド社

志望する大学はあるものの、今のままで合格できるのか不安を抱える高校生の田中真草。ある日、大学受験の参考書だらけの書店「三陽堂書店」と出逢い、受験への考えが変化していく……。 「自学の土台を作ろう！」というメッセージを伝えたい著者による勉強法の本『高校一冊目の参考書』。ほか、毎年出ている大学選びのための本の最新版『大学図鑑！ 2026』が新しく入りました。

数の「発見」の物語

宮崎弘安／著 岩波書店

この本では「数」を「すう」と読みます(目次ii)。人は長い時間をかけて1、2、3という自然数から、0、素数、無理数まで、新しい「数」を発見してきた。論理を積み重ね、常識を打ち破ることで発展してきた数学の歴史をたどり、自由で魅力的な数の世界を紹介する。

カトマンズに飛ばされて 旅嫌いな僕のアジア10カ国激闘日記

古館佑太郎／著 幻冬舎

人生初めての過呼吸、27時間の越境バス、ゴキブリまみれの夜行列車、潔癖症のガンジス川沐浴…。先輩のサカナクション・山口一郎からの命令でアジアに放り出された、人生に行き詰まったミュージシャンの絶望と再生の物語。トラブルまみれの一人旅で見つけた自分自身の姿とは？山口一郎の「あとがき」は必読。この旅日記は帰国した古館を見た山口の感想により完結します。

図解で学ぶめくるめく日本語史の世界

今野真二／著 淡交社

日本語にも歴史がある。令和の日本語は平成、昭和の日本語につながり、大正、明治の日本語は江戸時代につながっている。時代ごとに少しずつ異なる日本語には、変化の歴史があるといえる。「紀貫之と本居宣長は会話ができるか？」などのコラムと図解で日本語の歴史に触れる本。

もしもハチがいなくなったら？ 新書コーナー

横井智之／著 岩波書店(岩波ジュニア新書)

人間が生活していくために必要な農作物の生産には、「送粉(そうふん)」というハチをはじめとする昆虫たちの働きが欠かせない。しかし、人間が世界で80億人を超えてなお増え続け、農作物の需要が増加しているのに対し、人間の活動に起因する地球温暖化等によって、昆虫の種数や個体数は減少している。この本では、ハナバチの役割に目を向け、送粉者の重要性、その危機的状況や保全の取組を紹介する。

小説・文学

ブレイクショットの軌跡

逢坂冬馬／著 早川書房

自動車期間工の本田昂は、2年11カ月の寮生活を終えようとしていた。最終日、同僚がSUVブレイクショットのボルトをひとつ車体の内部に落とすのを目撃する。見過ごせば明日からは自由の身だが…。以後、移り変わるSUVブレイクショットの所有者を通して、日本とアフリカを舞台に複雑にドラマが展開していく。2022年本屋大賞『同志少女よ、敵を撃て』著者の最新作。

それいけ！平安部

宮島未奈／著 小学館

県立菅原高校の入学式。新入生の葉は、同じクラスの安以加に声をかけられる。「平安時代に興味ない?」。「平安部」を新たに作りたい安以加に熱心に勧誘され、入部を決めた葉。個性豊かな部員5人が集まって、「平安部」が動き出す。蹴鞠で全国大会に出てみたり、文化祭で平安時代のテーマパークを作ったり、次は何をするのか平安部。読めば続編を心待ちにしてしまう、2024年本屋大賞『成瀬は天下を取りにいく』の著者による、高校の部活を描いた青春小説です。

国宝 上 青春篇・下 花道篇 文庫コーナー

吉田修一／著 朝日新聞出版

1964年元旦の長崎での抗争により、侠客の実父を亡くした喜久雄。極道の生まれながらも大阪の人気歌舞伎役者の家へ預けられ、育ての父でもある師匠の実子・俊介と共に歌舞伎の修行に青春を捧げる。女形としての才能を開花させる二人だったが、師匠が自らの代役に、実子・俊介ではなく喜久雄を選んだことで運命が大きく変化していく。6月6日公開の映画「国宝」原作。

令和7(2025)年度 埼玉県高等学校読書感想文コンクール

課題図書3冊が発表されました。

『銀河の図書室』 名取佐和子／著 実業之日本社

『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ／著 山田文／訳 金原瑞人／選 作品社

『「コーダ」のぼくが見る世界：聴こえない親のもとに生まれて』 五十嵐大／著 紀伊國屋書店

- ◇ 自由に選んだ図書でも書くことができます。
- ◇ 学校ごとに取りまとめて県コンクールへ出品し、**県コンクールの優秀作品2点**になると、**全国コンクール**へ出品されます。
- ◇ 詳しい応募要項は、**わかり次第クラッシー**等でお知らせします。
- ◇ 興味のある人は、**次のサイトもチェック**してみてくださいね。

第71回青少年読書感想文全国コンクール公式サイト  
<https://www.dokusyokansoubun.jp/index.html>



課題図書の  
試し読みが  
できます